

# 平成12年三重県消費者物価指数の動向

## 1 概要

三重県...平成12年三重県消費者物価指数の総合指数は、平成7年を100とした指数で101.5となり、対前年上昇率は0.9%の下落でした。

近年の総合指数の動きを対前年上昇率で見ると、平成10年は0.7%上昇、平成11年は0.0%と横ばいでした。

平成12年は、生鮮野菜や果物が値下がりしたことに加え、家庭耐久財や教養娯楽用耐久材、衣料が下落したことなどにより0.9%の下落となりました。

なお、持家の帰属家賃を除く総合指数は前年に比べ0.9%下落の101.0でした。

(注) 平成10年まで5市平均を三重県消費者物価指数としていましたが、平成11年4月から4市平均に変更したため、平成11年以降の年平均値は4市平均で計算しています。

全国...平成12年全国消費者物価指数の総合指数は、平成7年を100とした指数で101.5となり、対前年上昇率は0.7%の下落で2年連続の下落となりました。

(図1、表1)

図1 消費者物価指数及び対前年上昇率

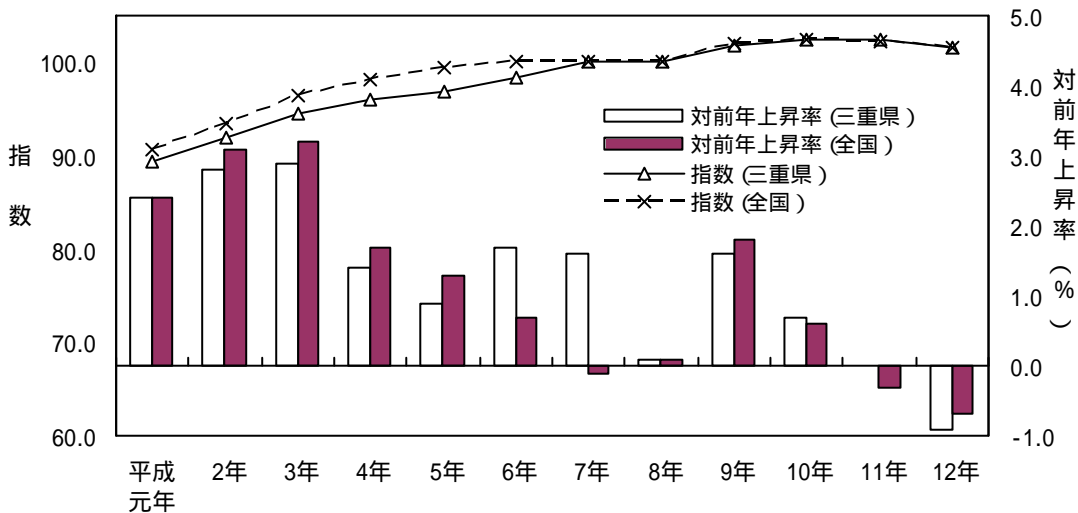


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成7年 = 100

	三重県				全国				三重県				全国				
	総合	対前年上昇率 (%)	総合 ( )	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 ( )	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 ( )	対前年上昇率 (%)	総合	対前年上昇率 (%)	総合 ( )	対前年上昇率 (%)	
昭和62年	86.7	0.0	88.5	-0.3	88.0	0.0	88.7	-0.2	平成6年	98.4	1.7	99.6	0.9	100.1	0.7	100.3	0.5
昭和63年	87.3	0.7	88.9	0.5	88.6	0.7	89.1	0.5	平成7年	100.0	1.6	100.0	0.4	100.0	-0.1	100.0	-0.3
平成元年	89.4	2.4	91.1	2.5	90.7	2.4	91.2	2.4	平成8年	100.1	0.1	99.9	-0.1	100.1	0.1	100.0	0.0
平成2年	91.9	2.8	93.8	3.0	93.5	3.1	94.0	3.1	平成9年	101.7	1.6	101.3	1.4	101.9	1.8	101.6	1.6
平成3年	94.6	2.9	96.6	3.0	96.5	3.2	97.1	3.3	平成10年	102.4	0.7	102.2	0.9	102.5	0.6	102.3	0.7
平成4年	95.9	1.4	97.7	1.1	98.1	1.7	98.7	1.6	平成11年	102.4	0.0	101.9	-0.3	102.2	-0.3	101.9	-0.4
平成5年	96.8	0.9	98.7	1.0	99.4	1.3	99.8	1.1	平成12年	101.5	-0.9	101.0	-0.9	101.5	-0.7	101.0	-0.9

## 2 年間の動き

平成12年における月々の三重県消費者物価指数の動きを総合指数について、各月の対前年同月上昇率でみました。

1月には、野菜・海藻、果物が前年を大きく下回ったほか、教養娯楽耐久材が下落したため1.0%下落しました。2月は野菜・海藻、果物の下落が引き続き大きく、1.2%下落しました。

3月は、野菜・海藻の下落幅が縮小したものの、衣料が下落したことも影響し0.7%の下落、4月は通信の下落等の影響で0.9%の下落、5月も同様に1.0%の下落でした。

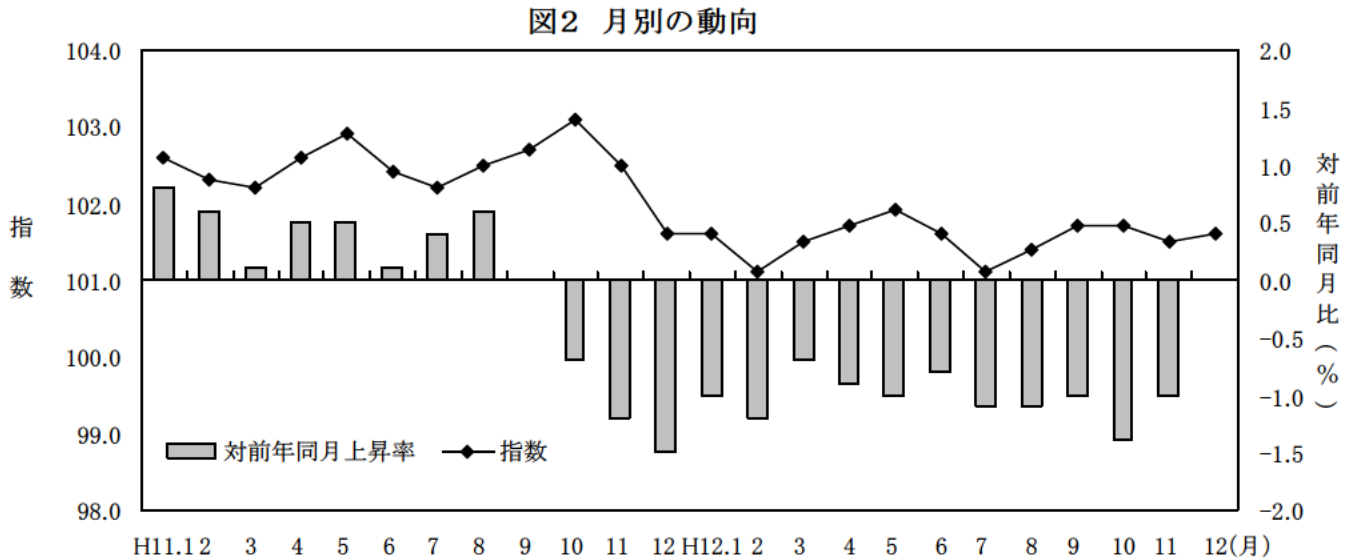
6月は、乳卵類及び履物類が下落傾向に転じたものの、食料の下落幅が小さくなり0.8%の下落、7月も同様に1.1%の下落でした。

8月は、生鮮果物の下落幅が小さくなったものの生鮮野菜の下落幅が大きくなり1.1%の下落でした。

9月は衣料の下落幅が小さくなった影響で1.0%の下落にとどまりましたが、10月は衣料の下落幅が再び増加し、電気代が10月以降下落に転じたことなどが影響し1.4%下落しました。

11月は果物が上昇したことなどで下落幅が低くなり1.0%の下落、12月は果物の他、野菜が上昇し0.0%でした。

(図2、表2、統計表第1表)



**表2 対前年同月上昇率及び  
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度**

対前年同月上昇率…単位: %

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
対前年同月上昇率	総合	三重県	-1.0	-1.2	-0.7	-0.9	-1.0	-0.8	-1.1	-1.1	-1.0	-1.4	-1.0	0.0
		全国	-0.9	-0.6	-0.5	-0.8	-0.7	-0.7	-0.5	-0.8	-0.8	-0.9	-0.5	-0.2
	持家の帰属家賃を除く総合	三重県	-1.4	-1.5	-1.0	-0.8	-1.1	-0.7	-1.1	-1.1	-1.0	-1.5	-1.0	0.1
		全国	-1.1	-0.9	-0.6	-0.9	-0.9	-0.9	-0.7	-0.9	-1.1	-1.2	-0.7	-0.3
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度(小・中分類で寄与度の大きいもの)	生鮮野菜	-0.50	-0.38	-0.05	-0.16	-0.21	-0.01	-0.15	-0.31	-0.29	-0.33	-0.02	0.21	
	生鮮果物	-0.23	-0.18	-0.14	-0.06	-0.22	-0.28	-0.12	-0.03	-0.09	-0.05	0.04	0.31	
	家庭用耐久財	-0.07	-0.07	-0.06	-0.02	-0.06	-0.07	-0.07	-0.07	-0.06	-0.08	-0.06	-0.04	
	衣料	-0.07	-0.09	-0.20	-0.19	-0.12	-0.12	-0.17	-0.16	-0.02	-0.14	-0.23	-0.05	

### 3 費目別指数の動き

平成12年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、光熱・水道、交通・通信、教育、諸雑費が上昇し、食料、住居、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、教養娯楽が下落しました。

(図3、表3)

#### (1) 食料

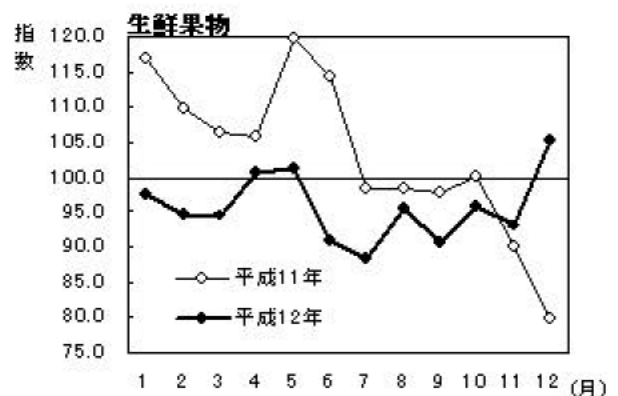
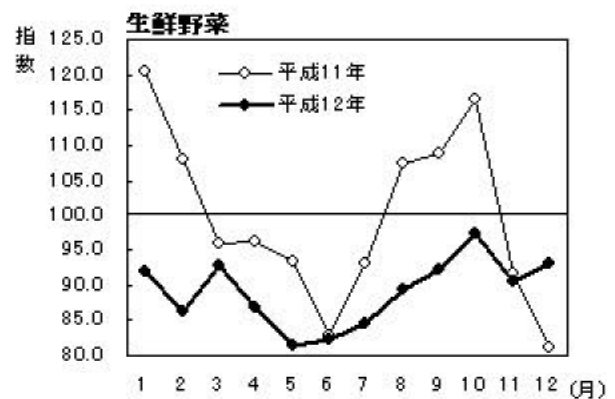
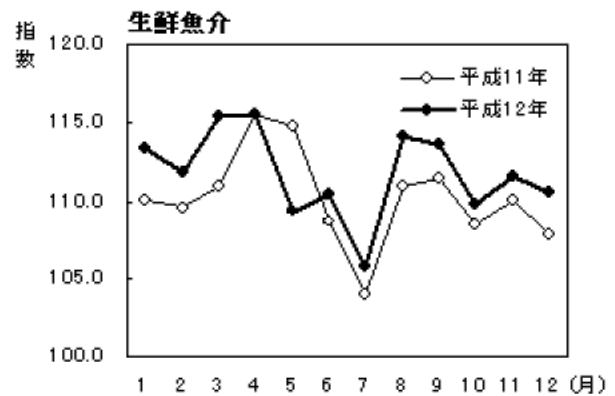
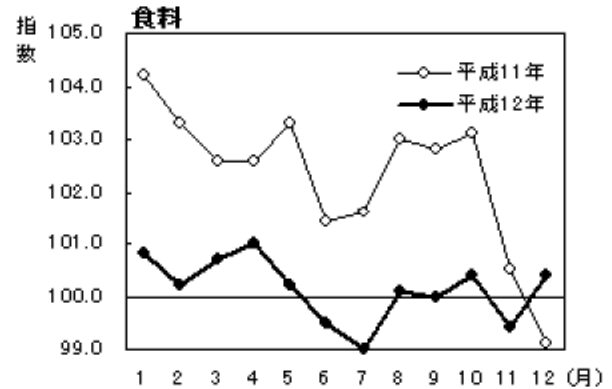
食料は 100.1 となり、前年に比べ 2.2% 下落しました。

内訳をみると、果物が 8.2%、野菜・海藻が 7.4%、油脂・調味料が 4.8%、肉類が 3.4%、穀類が 3.3%、飲料が 2.8%、乳卵類が 1.7%、酒類が 0.7%、菓子類が 0.6%、調理食品が 0.6%、外食が 0.5% 下落しました。

上昇は、魚介類の 1.4% のみでした。

なお生鮮食品についてみると、

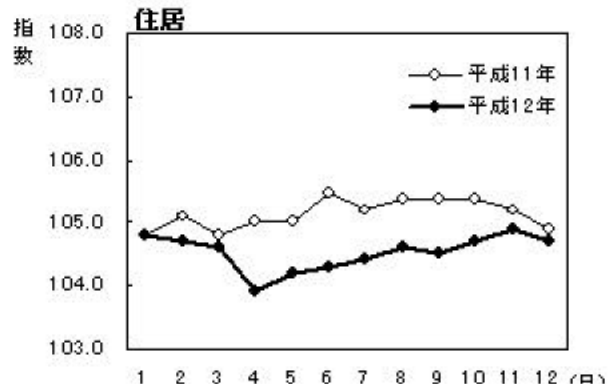
- ・ 生鮮魚介は4、5月を除き前年の水準を上回り1.2%上昇しました。
- ・ 生鮮野菜は、1月から11月まで対前年同月比の水準を下回って推移し、12月に上昇しましたが10.3%の下落でした。
- ・ 生鮮果物は、1月から10月まで対前年同月比で下落が続き、12月に大幅に上昇したものの8.2%の下落となりました。



## (2) 住居

住居は 104.5 となり、前年に比べ 0.5% 下落しました。

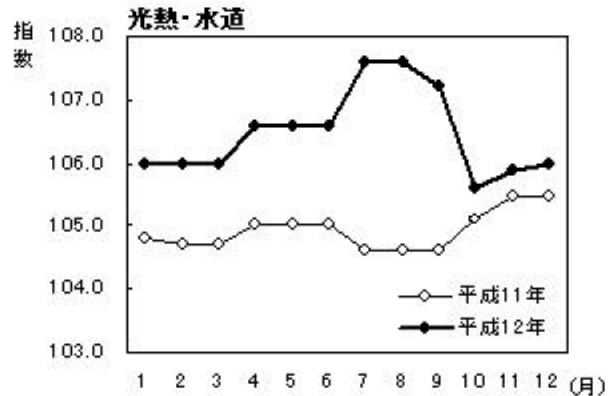
内訳をみると、家賃が 0.8% 下落し、設備修繕・維持が 0.7% 上昇しました。



## (3) 光熱・水道

光熱・水道は 106.5 となり、前年に比べ 1.5% 上昇しました。

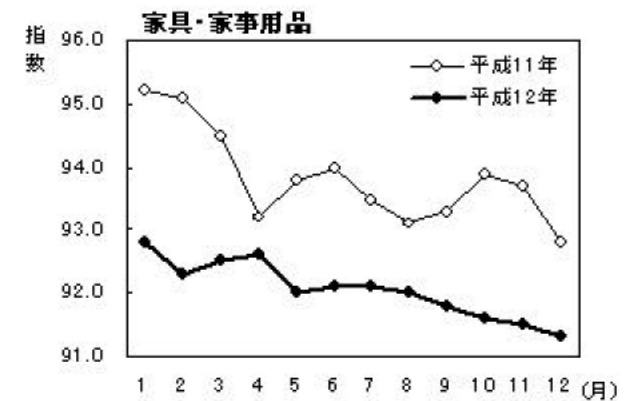
内訳をみると、他の光熱が 5.5%、上下水道が 1.8%、電気・ガス代が 1.2% の上昇でした。



## (4) 家具・家事用品

家具・家事用品は 92.1 となり、前年に比べ 1.5% 下落しました。

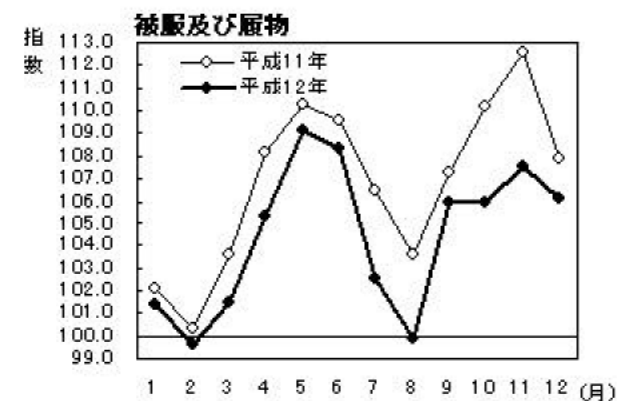
内訳をみると、家庭用耐久財が 4.9%、他の家具・家事用品が 0.1% と共に下落しました。



## (5) 被服及び履物

被服及び履物は 104.4 となり、前年に比べ 2.3% 下落しました。

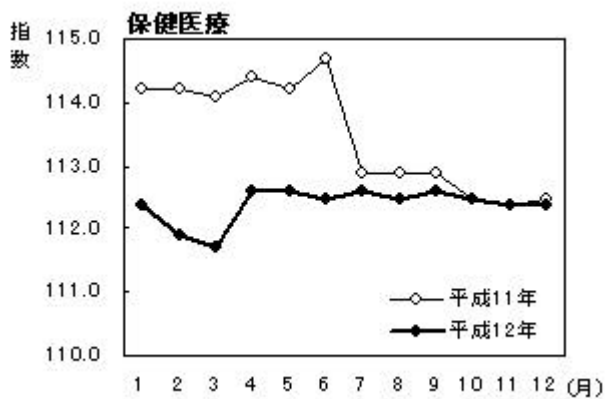
内訳をみると、衣料が 3.9%、シャツ・セーター・下着類が 1.3%、履物類が 1.1% 下落し、生地・他の被服類が 0.3% 上昇しました。



## (6) 保健医療

保健医療は 112.4 となり、前年に比べ 0.9% 下落しました。

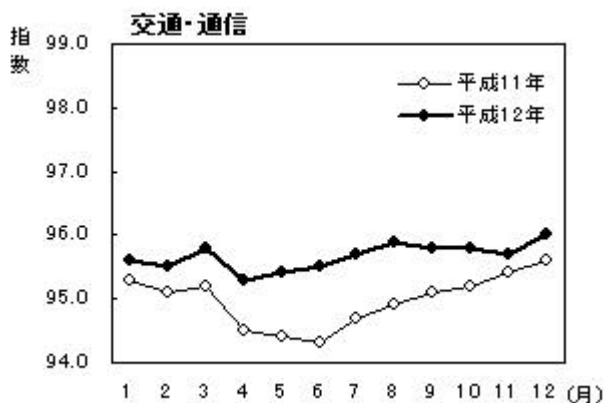
内訳をみると、保健医療用品・器具が 5.2%、医薬品が 0.3% 下落しました。また、保健医療サービスも平成11年7月実施の外来薬剤費の一部負担金に係る臨時特例措置（老人医療の受給者は支払いを免除）が12年12月末まで継続実施されたことなどにより0.1% 下落しました。



## (7) 交通・通信

交通・通信は95.7となり、前年に比べ 0.9% 上昇しました。

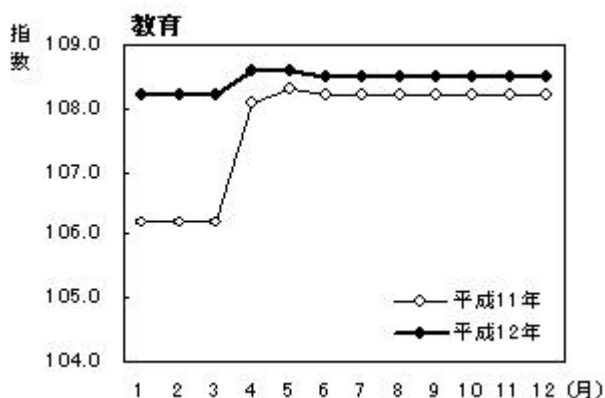
内訳をみると、通信が2.9% 下落、自動車等関係費が原油価格の上昇等の影響で 2.8% 上昇しました。



## (8) 教育

教育は 108.4 となり、前年に比べ 0.5% 上昇しました。

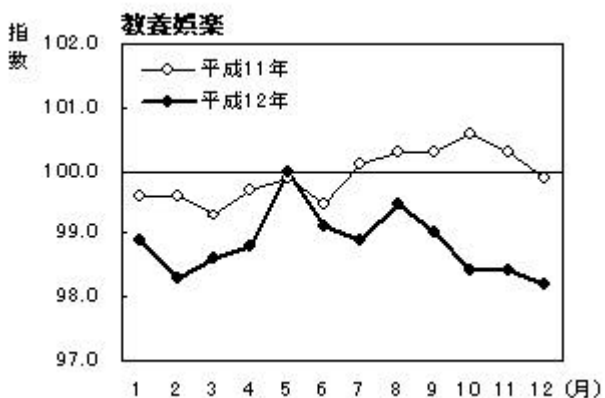
内訳をみると、授業料等が 0.8%、教科書・学習参考書が 0.3% 上昇しました。



## (9) 教養娯楽

教養娯楽は98.8となり、前年に比べ 1.1% 下落しました。

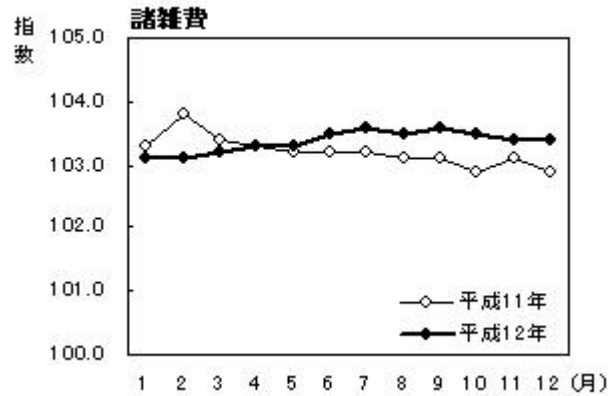
内訳をみると、教養娯楽用耐久財が 3.7%、他の教養娯楽が 0.8% 下落しました。



#### (10) 諸雑費

諸雑費は 103.4となり、前年に比べ 0.2%上昇しました。

内訳をみると、身の回り用品が0.6%、理美容用品が 0.2%上昇しました。



#### 4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とはその費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率は、総合の上昇率に占める各費目の寄与度の割合を 100分比 (各費目の寄与度 ÷ 総合の上昇率 × 100) で表すものです。

平成12年三重県消費者物価指数は、総合で見ると前年から0.9%の下落でした。

それぞれの費目では、指数の上昇したものと下落したものがあり、総合に影響を及ぼした度合(寄与度)を主な中分類別費目でみると、主に交通・通信の自動車等関係費が0.17、光熱・水道の電気・ガス代が0.05、食料の魚介類が0.05物価を押し上げる方向に働き、食料の生鮮野菜が0.18、生鮮果物が0.10、住居の家賃が0.14、被服及び履物の衣料が0.12物価を引き下げる方向に働いた結果、全体の寄与度は 0.90 (= 総合指数の上昇率が 0.9%) となりました。

(図4、表3)

図3 費目別対前年上昇率 (%)

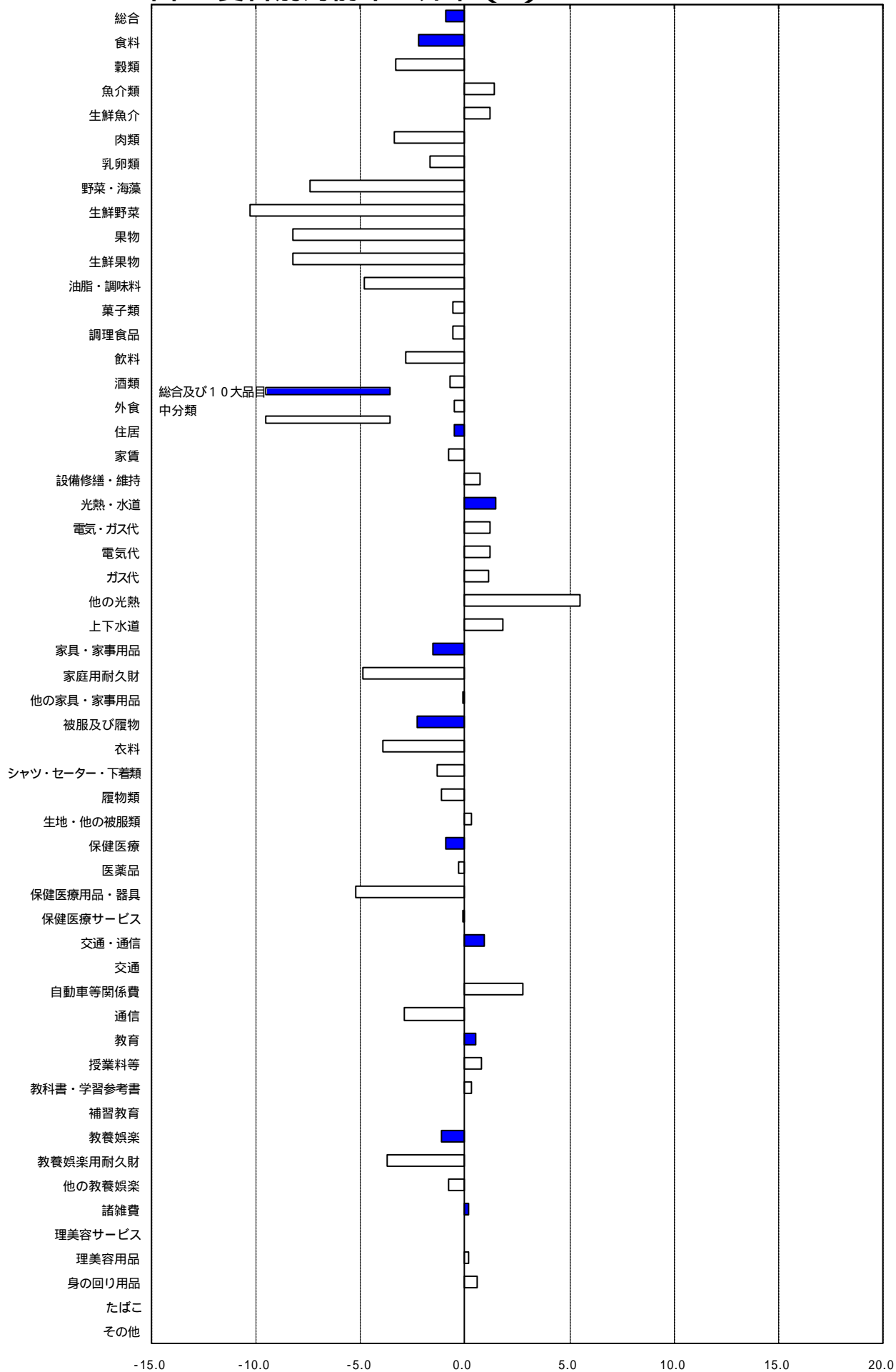


表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

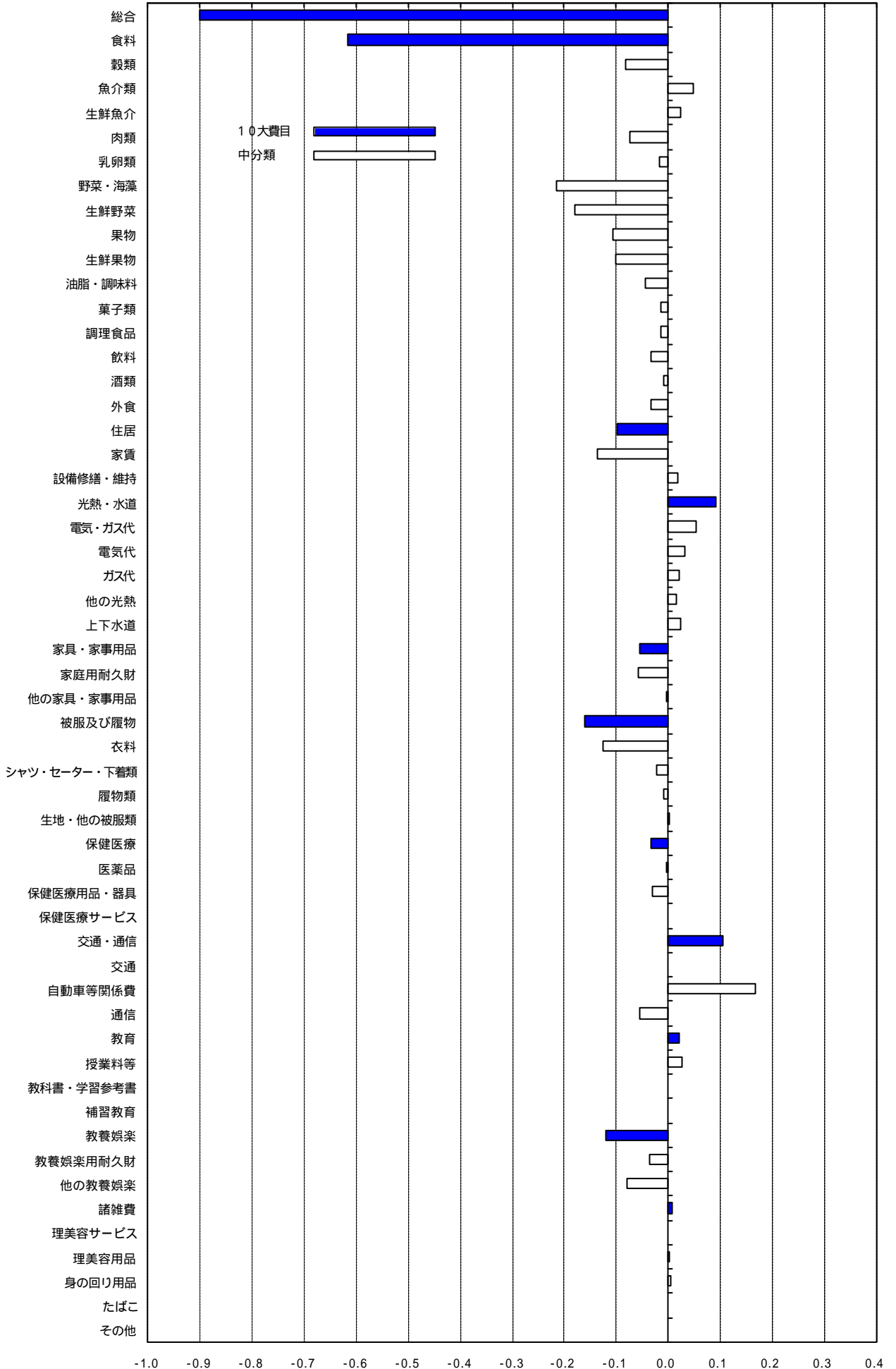
指数：平成7年平均 = 100

	指数		対前年上昇率(%)		寄与度		寄与率(%)	
	平成11年平均	平成12年平均	平成11年平均	平成12年平均	平成11年平均	平成12年平均	平成11年平均	平成12年平均
総合	102.4	101.5	0.0	-0.9	0.00	-0.90		100.0
持家の帰属家賃を除く総合	101.9	101.0	-0.3	-0.9	-0.25	-0.75		83.2
食料	102.3	100.1	-0.3	-2.2	-0.08	-0.62		68.5
穀類	95.7	92.5	-0.7	-3.3	-0.02	-0.08		9.2
魚介類	110.7	112.3	-0.6	1.4	-0.02	0.05		-5.4
生鮮魚介	110.5	111.8	-1.5	1.2	-0.03	0.02		-2.7
肉類	100.4	97.0	0.3	-3.4	0.01	-0.07		8.2
乳卵類	96.7	95.1	3.5	-1.7	0.04	-0.02		2.0
野菜・海藻	101.2	93.7	-8.7	-7.4	-0.28	-0.21		23.8
生鮮野菜	99.2	89.0	-15.2	-10.3	-0.31	-0.18		19.8
果物	103.3	94.8	5.1	-8.2	0.06	-0.11		11.8
生鮮果物	104.2	95.7	5.3	-8.2	0.06	-0.10		11.2
油脂・調味料	95.0	90.4	-1.1	-4.8	-0.01	-0.04		4.9
菓子類	108.2	107.6	2.3	-0.6	0.06	-0.01		1.6
調理食品	101.7	101.1	1.3	-0.6	0.03	-0.02		1.7
飲料	104.1	101.2	0.0	-2.8	0.04	-0.03		3.8
酒類	100.8	100.1	-0.4	-0.7	-0.01	-0.01		1.1
外食	101.8	101.3	-0.1	-0.5	-0.01	-0.03		3.7
住居	105.0	104.5	0.7	-0.5	0.14	-0.10		10.9
持家の帰属家賃を除く住居	104.3	104.1	0.0	-0.2	0.00	-0.01		1.1
家賃	104.9	104.1	0.8	-0.8	0.14	-0.14		15.1
持家の帰属家賃を除く家賃	102.0	100.4	-0.8	-1.6	-0.02	-0.04		4.4
設備修繕・維持	106.5	107.2	0.7	0.7	0.02	0.02		-2.1
光熱・水道	104.9	106.5	-0.6	1.5	-0.03	0.09		-10.2
電気・ガス代	101.2	102.4	-1.7	1.2	-0.08	0.05		-6.0
電気代	97.2	98.4	-2.4	1.2	-0.06	0.03		-3.5
ガス代	107.3	108.5	-0.5	1.1	-0.01	0.02		-2.4
他の光熱	90.6	95.6	-7.7	5.5	-0.02	0.01		-1.6
上下水道	130.2	132.6	7.3	1.8	0.09	0.02		-2.6
家具・家事用品	93.5	92.1	-2.2	-1.5	-0.08	-0.06		6.2
家庭用耐久財	85.5	81.3	-3.3	-4.9	-0.04	-0.06		6.3
他の家具・家事用品	97.7	97.6	-1.6	-0.1	-0.04	0.00		0.3
被服及び履物	106.9	104.4	1.3	-2.3	0.09	-0.16		17.8
衣料	109.8	105.5	2.7	-3.9	0.08	-0.12		13.9
シャツ・セーター・下着類	103.4	102.1	-0.9	-1.3	-0.02	-0.02		2.6
履物類	107.5	106.3	2.1	-1.1	0.01	-0.01		0.8
生地・他の被服類	103.8	104.1	0.2	0.3	0.00	0.00		-0.4
保健医療	113.4	112.4	-0.9	-0.9	-0.03	-0.03		3.6
医薬品	102.8	102.5	-1.7	-0.3	-0.02	0.00		0.3
保健医療用品・器具	96.1	91.1	-1.3	-5.2	-0.01	-0.03		3.3
保健医療サービス	126.5	126.4	-0.9	-0.1	-0.02	0.00		0.2
交通・通信	94.8	95.7	-0.7	0.9	-0.08	0.10		-11.7
交通	104.9	104.9	0.2	0.0	0.01	0.00		0.0
自動車等関係費	89.7	92.2	-1.5	2.8	-0.09	0.17		-18.7
通信	95.5	92.7	-0.4	-2.9	-0.01	-0.05		6.1
教育	107.9	108.4	2.0	0.5	0.09	0.02		-2.4
授業料等	109.3	110.2	2.9	0.8	0.09	0.03		-2.9
教科書・学習参考書	105.2	105.5	0.6	0.3	0.00	0.00		0.0
補習教育	105.1	105.1	0.0	0.0	0.00	0.00		0.0
教養娯楽	99.9	98.8	-0.7	-1.1	-0.08	-0.12		13.4
教養娯楽用耐久財	86.3	83.1	-4.1	-3.7	-0.04	-0.04		4.1
他の教養娯楽	101.6	100.8	-0.2	-0.8	-0.02	-0.08		8.7
諸雑費	103.2	103.4	1.1	0.2	0.04	0.01		-0.8
理美容サービス	105.8	105.8	-0.2	0.0	0.00	0.00		0.0
理美容用品	98.4	98.6	-0.8	0.2	-0.01	0.00		-0.2
身の回り用品	99.3	99.9	-0.1	0.6	0.00	0.00		-0.5
たばこ	110.0	110.0	7.1	0.0	0.05	0.00		0.0
その他	106.3	106.3	0.0	0.0	0.00	0.00		0.0

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。



図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



## 5 各市の動き

県内3市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、津市で1.2%下落したほか、上野市で0.8%の下落、尾鷲市では1.0%の下落でした。

なお、桑名市は平成11年に調査をおこなっていないため図から除いてあります。

(図5、表4)

(内訳)

3市を通してみると、食料、被服及び履物、保健医療、教養娯楽でいずれも下落し、一方、光熱・水道、交通・通信、教育が上昇しています。

個々に見ると、津市では、食料が3.1%の下落で3市の中では最も大きくなっています。

上野市では、被服及び履物が6.2%の下落で3市の中では最大となっています。

尾鷲市では、家具・家事用品が2.3%の下落で3市の中では最大となっています。

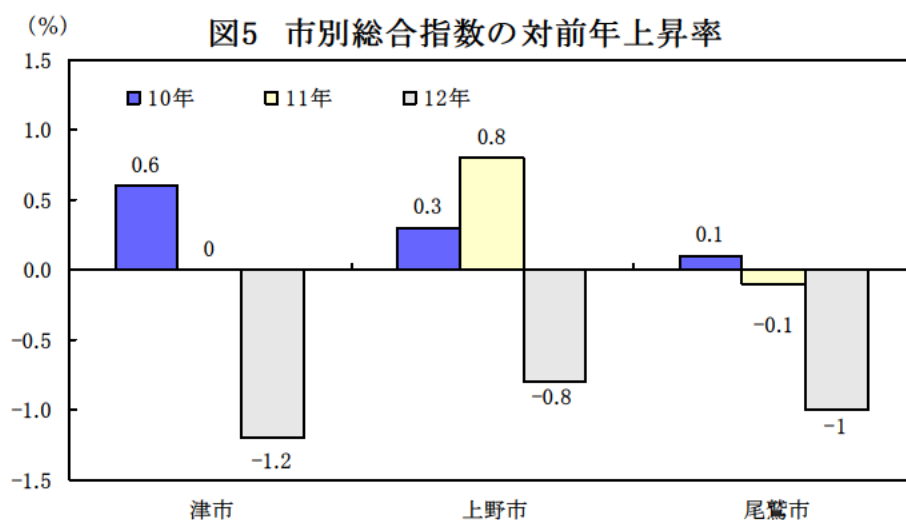


表4 都市別10大費目別対前年上昇率

(単位：%)

	総合	持除 家のく 帰属総 家賃合	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	-1.2	-1.3	-3.1	-0.9	1.0	-1.9	-1.3	-1.0	0.7	0.8	-0.6	0.2
上野市	-0.8	-0.9	-2.3	0.5	1.9	0.8	-6.2	-0.9	1.3	0.1	-1.0	0.8
尾鷲市	-1.0	-1.0	-2.3	-0.9	1.1	-2.3	-0.8	-0.4	1.6	0.7	-1.4	-0.5